

活動名 「鞆の町再発見」の旅	団体名	福山市立鞆小学校 鞆探検クラブ
	地域	広島県福山市
	代表者	校長 寺岡 美代子
	支援金額	20 万円
活動概要		
<p>「鞆を描こう」というテーマで全校児童が、ふるさと鞆の良さを取材し、絵で表現し図録にして発表して7年目です。今回は、1000 年以上昔から栄えた鞆の町の学習素材を新たに発掘するために地域人材を積極的に導入し、「鞆探検クラブ」が鞆の良さを伝える題材をまんべんなく網羅・整理し、取材の視点を確かにして「カルタ」を作成することにしました。例年通りの図録第Ⅶ号の作成と同時に、児童の絵を絵札に、「5・7・5」句を読み札に選定します。小型カルタ 500 組だけでなく、大判カルタも作成し、児童会活動、親善交流会（41 年間続く愛知県岡崎市立井田小学校との交流）かたる大会や福祉会・保幼小交流会・地域への感謝の会など異校種・異年齢での交流の場を設定し、学びを活性化することができます。町を巡って、自分が見たこと、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを絵と言葉で表わす力をつけ、鞆のよさを地域や福山市・全国に発信する活動を通して、自分の住む地域への誇りや愛着をもつことができると考えます。子どもたちに「地域への誇りや愛着」を育成する喜びを多くの人たちと実感し、共有することができるのです。</p> <p>◆実施時期 2013 年(平成 25 年)4 月～2014 年(平成 26 年)3 月 福山市鞆町内各所 福山市立鞆小学校 鞆の津ふれあいサロン</p> <p>◆参加人数 鞆小学校児童 122 名 PTA80 名 教職員 16 名 福山市立大学教育学部学生 20 数名 地域ゲストティーチャー 20 数名 地域住民ボランティア数十名 鞆こども園園児 20 数名 参加総人員:約 200 名</p>		



鞆の町の方々とグループに分かれて町歩きポイントを選んで句にしました



「鞆の町再発見の旅」を通じて詠んだ「5・7・5」句を読み札にしました



「鞆の町再発見」で見つけた鞆のよさを全校 122 名が美しい絵画に描きました



児童会行事 6 年生を送る会「カルタ会」。全校児童がオリジナルカルタで鞆の良さを味わいました

◆実施に伴う効果

- ・児童の絵が札になっている財団支援の「まちめぐりカルタ」は、地域の「さくらホーム」や「鞆の津ふれあいサロン」の福祉活動や地域の方々の交流活動に使用したいと要望が高い。
- ・こどもたちへのアンケートで「鞆の良さを 2 つ以上答えられる」「地域の行事に進んで参加する」「鞆が好き」の回答が90%を超える。「役に立つ人になりたい」80%を超える。
- ・「鞆探検クラブ」の児童の活動への達成感が次への意欲となった。⇒「狛犬の秘密を探ろう！」
- ・完成した絵がコンクール「ふくやま子ども『生きる』美術展」学校賞・大賞等「広島県ジュニア美術展」で4割近く受賞し、外部からの評価で自信を持った。

◆苦勞した点

- ・カルタ製作費の見積もりが甘かったこと
- ・地域や NPO, 大学生ボランティアなどさまざまな団体の前向きな取り組みと連携していく柔軟性をもつこと

◆今後の課題・発展の方向性

「鞆を描こう」全校絵画制作の取り組みについて、今回のように手立てを工夫して視点を変えて継承発展させていくようにする。

◆活動を終えての感想・意見等

鞆小学校の児童は、地域のみなさんに支えられ豊かな経験を継続して積み重ねています。図録第Ⅶ号は児童はもちろんのこと、保護者や地域のみなさんから高い評価をいただき、完成を心待ちにしておられます。以前に作成されていた「鞆の浦いろはカルタ」は、すばらしいものでありますが忘れられた存在でもありました。今回マツダ財団様の支援でより良いもの「鞆再発見まちめぐりカルタ」として完成しました。

これからも、鞆の宝として引き継いでいける青少年を育成したいです。